

久保田たかし活動最前線

発行：久保田たかし後援会・太田市民懇話会

市長交代で新たなスタートとなるか

4月に行われた市長選挙にて30年振りに市長が交代しました。若い市長の誕生で太田市がどう変わっていくのか、議会との関係はどうなるのか。これからは新市長とのコミュニケーションを大切に、議論しあえる関係構築に努めます。

昨年度は議員選出の監査委員として太田市で行われた事業の監査を行ってきました。6月定例会では久しぶりに一般質問に立ち、新市長の市政運営について議論を交わしました。

これからも議会の活性化を進め、議論しあえる環境をつくっていきます。



将来の太田市に向けた市長の方針を質しました

5月臨時会

5月16日に行われた臨時会では、正副議長の選任と議会選出監査委員の同意、各委員会の構成と正副委員長の選任など、新年度における各種人事が決定しました。

新市長就任後初の本会議でしたが、施政方針や政策にかかわる発言がありませんでした。市長として施政方針を示すことはとても重要です。6月定例会に期待します。

昨年度は監査委員を務めていましたが、新たに監査委員が選任されましたので、私の所属する会派「創政クラブ」の代表に復帰しました。正副議長と監査委員の議会三役を経験した議員と中堅若手議員が所属するバランスのとれた会派ですので、これからも太田市議会をリードしていく会派としての自覚をもって議会運営に臨みます。

6月定例会

6月13日～30日の間で開催された定例会では、新市長の所信表明演説から始まり、新副市長と新教育長の就任あいさつや空席となっていた代表監査委員の選任同意議決と就任あいさつがありました。

新市長の所信表明では「これまでの良き太田市政を大切に継承しながら、時代の変化に果敢に挑み新しい価値を創造していく。公平で開かれた市政、子どもの未来への投資、みんなが快適で安心を感じられるまちづくりを3つの基本理念とし、新たな時代にふさわしい市政の実現に全力で取り組む」とのことでした。

さて、今定例会では22人の議員が一般質問に立ちました。私も監査委員という立場上、1年間は質問を控えていましたが、行政が新体制になったことや、新市長が事業の見直しなどを表明したことで、予算執行に変更が生じることも考えられるため、行政の考え方を市民に公開する立場として、今年度は積極的に一般質問を行っていこうと思います。

一般質問の要旨

◆太田強戸スマートインターチェンジ周辺開発について

【久保田】太田強戸スマートインターチェンジと渡良瀬川の松原橋を結ぶ太田桐生バイパス構想が動き出すという報道がありました。災害時の復旧復興、医療連携、周辺企業への利便性向上ということが期待されて、地元から歓迎の声が上がっている。という記事でした。これはほとんどが桐生市側のメリットです。スマートインター下の土地と、このバイパスの沿道の開発にインセンティブがなければ、周辺住民にとってはただの迷惑道路でしかありません。太田市側のメリット、特に周辺の土地開発のインセンティブを持たせるために、太田市として群馬県に何を求めるべきだと思いますか。

【市長】こういった大規模な開発なので、地権者も含め、様々なアンケートを基に、しっかりと声を伺いながら進めていくと同時に、費用負担も

今のところ、県は太田市の負担は求めないということなので、そういった条件はもちろんのこと、太田市にとってどういう効果があるのかというのは、これからしっかりと見極めていかなければならない事業だと感じています。

◆市長の施政方針と市政運営について

【久保田】今定例会冒頭で市長の所信表明がされました。3つの基本理念が示されましたがどれも具体性に欠けたものでした。その理念を具現化するためには課題の抽出が必要です。市長は太田市の課題をどのようにとらえていますか。

【市長】今年度本市は不交付団体になる見込みです。そのような中で米国の関税の問題や人口減少、労働力不足など様々な課題が山積しています。今後は企業が発展できるように取り組んでいきます。

【久保田】市長は太田市全体の最高責任者であると同時に太田市役所という組織のトップでもあります。この組織の課題についてはどのようにとらえていますか。

【市長】職員の定年延長が行われています。それに伴う人件費の上昇や職員のモチベーションの維持、新陳代謝の停滞などが考えられます。また、現法では横ぐしをさして横断的な取り組みが図られにくい

こと、いわゆる硬直化につながり、協力体制の構築が図られにくいといった縦割りの弊害がまだまだあると感じています。解決策として、人事評価制度の見直しやプロジェクト型の横断組織の導入など、あるいは柔軟な人材配置などを通じて、職員がそれぞれの能力を発揮し生き生きと働ける環境づくりを市長としてしっかりと作っていきたいと考えています。

【久保田】市長が選挙戦で新聞に折り込んだビラに書かれていた「トップダウンではなくボトムアップ」とありました。市長はしきりにボトムアップという言葉強調していますが、人口22万3千人の地方自治体のリーダー像をどのようにとらえているのか、太田市のリーダーはどうあるべきかについての考えを聞かせてください。

【市長】リーダーは公平公正であることが重要だと思っています。さらに議会との対話も重要です。市民の声を受け止め対話と共創という形で多くのことを責任をもって進めていきます。個別のことをトップダウンだボトムアップだというのは、市民の声を聞き議会の声もしっかり聴くという意味でのボトムアップということです。

質問の様子はこちらから→



補正予算案に対する質疑

◆市内経済対策としてお米券を配布する

【久保田】市内経済の活性化および長引く食料品の価格高騰による負担軽減を図ることを目的に、全市民を対象に食料品購入支援のために実施するというものです。では、これが市民の手に届くのはいつになるのか。

【産業環境部長】10月発送を目途に準備します。

【久保田】この事業が議会に内示されたのが数日前で、紙のお米券を配布するというものでしたが、先ほどの提案理由説明では地域通貨で行うとされました。紙のお米券ではなくOTACOを使うということでもいいのか。また、OTACOの課題ををどのようにとらえ、普及促進や利用拡大に向けてどのように取り組んでいくのか。さらに、現在の物価高騰、

エネルギー高騰、市民生活にかかる値段は高いままという環境の中で、生活する市民に対しての支援策として、二の矢・三の矢のお考えがあるのかどうかお聞きします。

【市長】本事業の地域通貨は原則OTACOを考えています。すべての市民を対象に経済的弱者にも迅速に届くように制度設計しているところです。OTACOの利用者が少ないという課題についてはこれを機に利用拡大、また高齢者については利用できるように支援を進めていきます。OTACOカードについては多くの店舗に使っていただくように活動していきたいと考えています。また、今後の経済対策については、今の状況ですとこれで経済対策は終わりという事ではありません。国・県の動向を注視しながら内需拡大や地域経済の活性化など太田市としても対策に取り組んでいきたい。



なんで今なん？

5月臨時会の欄で創政クラブの代表に復帰したことを伝えました。実は6月定例会を控えた6月初旬に7人の会派から3人が脱退し、志友会に移りました。

5月臨時会で今年度の委員会の所属や、各正副委員長人事を決めたばかりでの出来事でした。

議会人事は今年度の議会運営を円滑に進めるために期数や会派間のバランスを考慮しながら、時間をかけて丁寧に進めるよう心がけています。

創政クラブから離脱した議員も調整の中心的役割を果たしていた人たちです。最大会派の一員として議会内の調整がどれだけ骨が折れるかわかっているはずなのに...

脱退表明の後、議会内の調整をやり直すための段取りは6月定例会を目前に控えた中で時間的にとても忙しい日程で行われました。委員会の所属変更や正副委員長の交代など、影響を最小限にとどめるための調整を行いました。離れた議員はその調整には加わっていません...



市長交代。政策や方針も変わるので市役所内でも議会内でも少し混乱するのは仕方ありません。今定例会では、市内経済対策として市民一人当たり5千円を配ることになりました。議会に内示された時点では「紙のお米券」2,500円分ということでしたが、議会側から5千円をOTACOでと要望しました。お米券では500円(1枚)当たり60円の手数料がかかり、総額で1億3千万円を無駄にすることになります。市民が使える額も4,400円になってしまいます。ならばOTACOで実施するのが合理的だし、太田市内の経済対策にもつながります。ボトムアップでの判断なのか、トップダウンで指示したのかは定かではありません。

ご意見・ご感想をお寄せください。
相談ごともお遠慮なく下記までどうぞ。

久保田たかし後援会事務所

住 所：大泉町坂田1-1-1
TEL：0276-61-9926
FAX：0276-61-8993